

健康福祉委員会資料

(健康福祉局関係)

1 所管事務の調査（報告）

(2) 令和元年台風第19号による被害への対応等について

追加資料1 台風19号 床上浸水被害施設等（健康福祉局関係）

参考資料 11月1日健康福祉委員会資料

令和元年11月1日

健康福祉局

台風 19 号 床上浸水被害施設等（健康福祉局関係）

		区分	サービス種別	区	洪水ハザードマップにおける 浸水想定（多摩川氾濫時）
高齢者 施設	1	高齢者	小規模多機能型居宅介護 併設サービス： 認知症対応型共同生活介護 （グループホーム・被害無し）	高津区	3-5m
	2	高齢者	小規模多機能型居宅介護 併設サービス： 認知症対応型共同生活介護 （グループホーム・被害無し）	多摩区	0.5-3m
	3	高齢者	サービス付き高齢者向け住宅	高津区	3-5m
	4	高齢者	居宅介護支援	中原区	0.5-3m
	5	高齢者	住宅型有料老人ホーム	多摩区	0.5-3m
	6	高齢者	居宅介護支援 訪問介護	中原区	3-5m
	7	高齢者	サービス付き高齢者向け住宅	多摩区	3-5m
障害 児・者 施設	8	障害者	生活介護 就労継続 B （通所）	高津区	3-5m
	9	障害者	共同生活援助 （グループホーム）	高津区	3-5m
高齢者 、障害 児者等 併設 施設	10	高齢者 障害者	特別養護老人ホーム（被害無） 居宅介護支援 通所介護（高齢者通所） 生活介護（障害者通所） 地域包括支援センター	中原区	3-5m

令和元年台風第19号による被害への対応等について（健康福祉局）

1 健康福祉局関係施設の被害状況（10月28日現在 健康福祉局で把握しているもの）

(1) 床上浸水 10件

<内訳、利用者への影響等>

施設	件数	利用者への影響等
高齢者施設	7件	・利用者が他施設へ移動、一時的に閉館（10月13日～10月20日） 1施設 （小規模多機能型居宅介護・グループホーム併設施設）
		・利用者が上層階へ移動、一時的に閉館（10月13日～10月22日） 1施設 （小規模多機能型居宅介護・グループホーム併設施設）
		・利用者が上層階へ移動し、その後他施設へ移動 1施設 （サービス付き高齢者住宅）
		・サービス提供に大きな影響は生じていない 4施設 （居宅介護支援、サービス付き高齢者住宅、有料老人ホーム）
障害児・者施設	2件	・一時的に閉館（10月15日～17日午前） 1施設 （生活介護・就労継続事業所）
		・サービス提供に大きな影響は生じていない 1施設 （障害者グループホーム）
高齢者・障害児者・地域包括支援センター併設施設（※1）	1件	・居宅介護支援、通所介護、障害者生活介護、地域包括支援センターの 4事業所 が事業停止 （通所介護・障害者生活介護＝再開に向けて準備中 居宅介護支援・地域包括C＝2階スペースで一部再開）

※1 社会福祉施設みやうち

(2) 床下浸水 2件

高齢者施設 1件 障害児・者施設 1件

(3) 浸水・雨漏り等 57件

高齢者施設 25件 障害児・者施設 12件
 休日急患診療所 2件 基幹相談支援センター 2件
 公共施設 16件

(4) 設備（窓ガラス、雨戸等）破損等 28件

高齢者施設 14件 障害児・者施設 6件
 公共施設 8件

(5) 樹木被害（倒木等） 5件

高齢者施設 1件 公共施設 4件

(6) 停電 2件

高齢者施設 2件

2 台風19号に対する主な支援対応（健康福祉局）

(1) 保健医療調整本部の設置

【医療対応】

EMIS（広域災害救急医療情報システム）による病院被害状況確認

10月12日から13日にかけて、当直体制をもって、市内病院情報の更新を
随時呼び掛け、被災した場合には速やかに支援が出来るよう待機

⇒ 結果：すべての病院で被害なしを確認（最終確認10月13日9時20分）

【衛生対応】

衛生対策と消毒作業の助言・支援

床上浸水の被害を受けた方に対し、噴霧器の貸出し、消毒薬、マスク、ゴム
手袋の配布を実施した。消毒を実施できない高齢者世帯等には、行政又は消毒
業者（神奈川県ペストコントロール協会）による消毒ができる体制を整備した。

また、清掃作業に必要なマスクを、災害ボランティアにも提供した。

<配布等件数> 10月28日現在

消毒薬の区への配布数： 2, 000本（500ml入り）

マスクの区への配布数： 3, 000枚（その他に別途備蓄品を流用）

ゴム手袋の区への配布数： 6, 600枚

噴霧器の配備数：高津区8台、中原区31台、多摩区6台

ボランティアへのマスクの提供： 7, 000枚

(2) 災害ボランティアセンターの設置

川崎市、川崎市社会福祉協議会及びかわさき市民活動センターとの三者協定
に基づき、川崎市災害ボランティアセンターを総合福祉センター内に開設した。

<派遣要請等> 10月28日現在

派遣要請件数 256件

ボランティア従事者 延べ750人

ボランティア実施戸数 172件

※ボランティアの受付等は社会福祉協議会が行っている。

(3) ホームレスへの避難の呼びかけ等

ホームレスに巡回相談の中で避難を呼びかけるとともに、ホームレス自立
支援センターで避難を希望するホームレスの受入を行った。

<利用者数> 10月28日現在

自立支援センター日進町： 8名

生活づくり支援ホーム下野毛： 6名

(4) 川崎市動物救援本部の設置及び被災住宅等のペット一時預り支援

台風19号により被災された方のペットを救護するために、動物救援本部を設置し、公益社団法人川崎市獣医師会の会員の動物病院等で被災ペットの一時預り支援を実施した。

<ペット預り件数> 10月28日現在

1件

(5) 老人いこいの家を避難所として利用

高津区内の避難所として、老人いこいの家のスペースを提供した。

<状況>

日時 10月15日(火) 夕方

場所 東高津いこいの家(8世帯12名)

くじいこいの家(6世帯9名)

<現在状況> (10月28日時点)

くじいこいの家 5世帯9名

(6) 無料入浴サービスの提供

台風19号で自宅が被災し、自宅の風呂の使用ができない市内在住の方に対し、公衆浴場(銭湯)の御厚意により、無料入浴サービスを提供

<実施状況等>

提供期間 10月18日(金)から11月8日(金)まで

実施浴場 11か所(中原区5、高津区5、多摩区1)

利用人数 2,094人(10月28日(月)現在までの総数)